

⑨筆 塚



昭和25年5月、書道において大多和林斎、武田香洞、飯塚静石、麻生一亭等諸先輩に続くため、また先輩たちの功績を偲ぶためにこの筆塚がつけられた。高さ108cm 最大巾110cm 厚み12cm

(碑文)

表 ゆく雲に流るゝ水に
言霊の夢を浮べて
咲く花越(を)照る月影を
永劫に見む
吾が筆の精

裏 長生ノ地文人墨客
輩出ス書道ニ於テ
大多和林斎武田香洞
飯塚静石緑川春浦
麻生一亭ノ先輩アリ
今亦之ニ続カントス仍
テ茲ニ筆塚ヲ建設シ
以テ先人ノ業績ヲ偲ブ
ト共ニ書道ノ興隆ニ
寄与セントス
昭和廿五年五月
篆 石井雙石
詩 白鳥省吾
書 板倉花巻

以下発起人名(省略)